

公益財団法人 浜松市文化振興財団

令和 3 年度 事業計画

令和 3 年度 収支予算

令和3年度 事業計画

【概要】

1. 総括

前年度において新型コロナウイルス感染拡大の危機に直面しながらも、知恵を出し合い工夫を重ねながらウィズコロナの時代を生き抜くノウハウを蓄積してきました。

具体的には、感染防止対策やリモート会議、オンライン環境の整備など、利用者や来場者の視点に立ったウィズコロナの時代におけるハードとソフト両面における対策に取り組みました。

令和3年度においては、ウィズコロナからアフターコロナへの移行を視野に、柔軟な発想のもと、この歩みを着実に進めるとともに、中間支援の機能を最大限に発揮し、浜松市が掲げる「文化振興ビジョン」の将来像の実現に寄与します。

2. 芸術文化振興への主な取り組み

(1) 芸術文化公演の企画運営について

鑑賞型事業については、当財団の強みである音楽芸術に関する専門性を活かし、質の高い芸術文化の鑑賞機会の提供に努めます。

本年度は、新型コロナウイルスによる渡航制限を鑑み、国内の将来性あふれる優秀なアーティストの演奏に焦点を当てた多様なジャンルの公演を企画します。

(2) 芸術文化活動等の支援について

本年度においても、当財団がこれまで培ってきた様々な分野の市民文化団体等とのネットワークを活かし、芸術文化を通じた社会課題の解決に取り組む土壌づくりを目指します。このためには、財団と多様な文化の担い手が相互に協力・連携し、その課題解決力を高めていくことが重要と考えます。この実現に向けて、財団が担っている芸術文化を起点とした人と人、人と活動、活動と活動をつなぐ役割を再認識し、市民の文化活動の一層の支援に取り組みます。

特に浜松アーツ&クリエイション事業においては、市民主体の文化活動の活性化を図るとともに、創造性ある活動に取り組む人材の発掘・育成・交流を促進するため、様々な支援活動に取り組みます。

(3) 浜松市とともに推進する共催・負担金事業等について

芸術文化のもつ効用を最大限に活かし、芸術文化を都市の活力につなげ、市民の誇りとなる取り組みを目指します。

本年度は、「第11回浜松国際ピアノコンクール」の開催年となります。また、前年度に延期となった「はままつ響きの創造プロジェクト・サウンドデザインフェスティバル in 浜松 2021」などの大型事業の開催も予定しています。開催に向け、新型コロナウイルスの感染拡大状況や渡航制限を注視しつつ、社会状態に合わせて混乱なく円滑に実施できる手法を検討します。

次代の芸術文化の担い手の育成については、アクトシティ音楽院事業を中心に、令和3年度開館の浜松市市民音楽ホール（通称サーラ音楽ホール）と連携した事業を展開し、芸術文化に触れる機会の創出から世界で活躍するアーティストの発掘まで、創造性ある未来人材の育成を充実します。

3. 所管施設の運営について

(1) 指定管理施設の運営について

本年度は、新規の指定管理施設となる浜松市市民音楽ホールを含め9施設の指定管理を受託しま

す。

受託にあたっては、浜松市の「文化振興ビジョン」に示された各施設の担う役割を認識し、指定管理者協定に基づく適正な管理運営に取り組みます。

新規施設となる浜松市市民音楽ホールは、6月の開館及び開館記念イベントの開催、7月の施設供用開始に向けて準備を進めます。

浜松市浜北文化センター、浜松市なゆた・浜北及び浜松市・市民ミュージアム浜北の3施設は、引き続き株式会社なゆた浜北と共同事業体を組織して運営にあたります。

なお、アクトシティ浜松、浜松市楽器博物館及び浜松市天竜壬生ホールの3施設については、令和4年度に契約更新を迎えることから、次期指定管理の獲得に向けた提案を準備します。

(2) ウィズコロナの時代における施設の利用促進について

コロナ禍における施設の利用促進を図るため、利用者の視点に立った丁寧な説明に努めるとともに、利用者のニーズを的確に把握し、迅速かつ適切な対応を図ります。

具体的には、安全を高める事業開催の方策提案、感染防止対策備品の貸し出し、オンラインを併用した施設利用の提案などを実施します。

特にオンラインの活用については、オンラインとリアル開催を併用したハイブリット形式の利用が増加していることをふまえ、施設の通信環境の整備を進めます。コンベンション需要が高いアクトシティ浜松では通信回線の増強、浜北文化センター及び浜松市市民音楽ホールでは浜松市による通信設備の整備に伴いネット環境の強化を図り、施設利用を促進します。

今後は、ウィズコロナからアフターコロナの時代への移行を視野に入れ、時代の変化に柔軟に対応できる施設運営を目指します。

4. 法人経営計画

危機管理体制の拡充を目的として、組織全体の防災計画を大幅に見直し、災害や感染症等の緊急事態に迅速に対応できる体制の一層強化を図ります。

また、中長期的な人材確保を目的として平成29年度から着手した有期職員の正規職員及び専門職への身分替えについて、一定の転換が図られたことから、今後は職員の育成に力をいれます。前年度に開始した階級別・系統別の研修計画について、今年度は通年で実施し、職員の能力向上と知識継承を進めます。特に防災研修については、これまで各施設で企画していたものに加え、今後は前述の防災体制の強化と連携することで組織的に取り組みます。

1 芸術文化を育成、振興するための文化事業の提供と、芸術文化の調査、情報収集、発信及び継承

(1) 芸術文化公演の企画、運営及び提供

① 事業方針

令和3年度は、大型の演劇、ミュージカル等の多くの出演者による稽古などを要する事業は、いまだ開催の目処が立たない状況ですが、財団が持つ音楽関係者等とのネットワークを活かし、質の高い芸術文化の鑑賞機会の提供に努めます。

また、非接触で購入から入場まで行うことができる電子チケットへの転換の促進など、ウィズコロナにおける新たな方策を進めます。

さらに、ライブにより芸術文化を鑑賞する機会の価値を高めつつ、オンラインにより演奏者のズームアップや多アングル、場所や時間を選ばない鑑賞機会の提供など、アフターコロナにおける新たな鑑賞方法を提案するなど、新型コロナウイルスの危機を現状変革の好機として捉え、事業を展開します。

② 重点的に取り組む事項

- ・海外演奏家の来日が再開に向けて動き始めていることを受け、世界の名演奏家たちによるコンサートシリーズ「アクト・プレミアム・シリーズ」を継続開催します。本年度はアジア人として初めてショパンコンクールを制したピアニスト、ダン・タイ・ソン、3度にわたってグラミー賞を受賞しているヴァイオリニスト、ヒラリー・ハーン、現在最高のメゾ・ソプラノと称され欧米を中心に大活躍している藤村実穂子ら、豪華な出演者で開催します。
- ・オーケストラ事業では、第11回浜松国際ピアノコンクール開催を記念し、在京オーケストラの雄、新日本フィルハーモニー交響楽団と浜松国際ピアノコンクール入賞者の三浦謙司、中桐望の協奏曲の競演をお届けします。年度後半には海外オーケストラ招聘を目指し、英国を代表するオーケストラ、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団と人気ピアニスト辻井伸行の協演を予定しています。
- ・伝統芸能事業では、人間国宝、野村万作と人気狂言師、野村萬斎親子による狂言公演を開催します。

事業名	会場	開催予定日	内容
アクト・ニューアーティスト・シリーズ (クラシック界注目の若手演奏家によるアクトシティ独自のシリーズ企画)			
No. 128 谷 昂登 (ピアノ)	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	5/9	2020年第18回東京音楽コンクールピアノ部門 第2位 (最高位)・聴衆賞。
No. 129 新田 吏央 (マリンバ)		7/4	2019年第17回イタリアPAS国際打楽器コンクール 第2位。
No. 130 三村 梨紗 (トランペット)		8/14	2019年第36回日本管打楽器コンクール第1位。
No. 131 外村 理紗 (ヴァイオリン)		12/19	2018年第10回インディアナポリス国際ヴァイオリン コンクール第2位。
No. 132 森田 啓佑 (チェロ)		2/13	高校在学中に第68回全日本学生音楽コンクール 及び第83回日本音楽コンクールの史上初同時2冠 を達成。

事業名	会場	開催予定日	内容
アクト・プレミアム・シリーズ (一流演奏家によるコンサートシリーズ。コンサートホールである中ホールで開催するプレミアムなコンサートを展開。)			
ヒラリー・ハーン (ヴァイオリン)	アクトシティ浜松 中ホール	7/10	グラミー賞を3度受賞。デビュー以来20年に渡り、世界的人気を誇るヴァイオリニスト。
ジャン＝ギアン・ケラス (無伴奏チェロ)		9/14	現代最高峰の人気と実力を誇るチェリスト。浜松だけの特別ゲストとして、ケラスに6年間師事した横坂源を迎え師弟共演が実現。
ネマニャ・ラドゥロヴィチ (ヴァイオリン) presents ドゥーブル・サンス (弦楽合奏&ピアノ/ チェンバロ)		12/14	「パガニーニの再来」とも称されるヴィルトーゾ、ネマニャ・ラドゥロヴィチと室内楽団「ドゥーブル・サンス」によるコンサート。
ダン・タイ・ソン (ピアノ)		1/23	アジア人として初めてショパン国際ピアノコンクールを制した世界中で愛されるピアニスト。
藤村 実穂子 (メゾ・ソプラノ)		3/7	世界の名だたる歌劇場やオーケストラと共演、「現在最高のメゾ」と称される歌手。
三浦謙司×中桐望× 新日本フィルハーモニー 交響楽団	アクトシティ浜松 中ホール	5/10	2019年ロン・ティボー・クレスパン国際コンクールで見事優勝を飾った三浦謙司(第9回浜松国際ピアノコンクール奨励賞)と第8回浜松国際ピアノコンクールで日本人最高位となる第2位となった中桐望を迎え、新日本フィルによる協奏曲をお届けする。
Road to 2027 プロジェクト in 浜松 仲道郁代 ピアノ・リサイタル Vol.3 「幻想曲の系譜」	アクトシティ浜松 中ホール	5/22	浜松出身の日本を代表するピアニスト、仲道郁代が自身の演奏活動40周年となる2027年に向けて取り組むリサイタル・シリーズ。
ディズニー・オン・クラシック 夢とまほうの贈りもの	アクトシティ浜松 大ホール	5/28	『美女と野獣』や『モアナと伝説の海』、そして最新作『ラーヤと龍の王国』などのディズニー音楽を、物語を紡ぐ映像とともに、日本人ヴォーカリストとオーケストラの生演奏でお贈りする。 共催: Harmony JAPAN、K-mix、Daiichi-TV
菊地成孔とペペ・トルメント・ アスカラル	アクトシティ浜松 中ホール	5/29	複雑でありながら官能的なサウンドと世界観を持つ、世界でも類例のない異形の超混血系オルケスタ。
第15回浜松いわた信用金庫 「夢に追いかぜコンサート in 浜松」	アクトシティ浜松 中ホール	7/25	毎年恒例のファミリーを対象としたクラシックコンサート。 共催: 浜松いわた信用金庫、(公財) 浜松交響楽団

事業名	会場	開催予定日	内容
侍 BRASS	アクトシティ浜松 中ホール	8/31	楽団長、中川英二郎（トロンボーン）を中心に、各パートにエリック・ミヤシロ（トランペット）らトッププレイヤーたちが集う金管アンサンブル。
Road to 2027 プロジェクト in 浜松 仲道郁代 ピアノ・リサイタル Vol.4 「幻想とは」	アクトシティ浜松 中ホール	9/20	浜松出身の日本を代表するピアニスト、仲道郁代が自身の演奏活動40周年となる2027年に向けて取り組むリサイタル・シリーズ。
ザ・グレン・ミラーオーケストラ Japan Tour 2021	アクトシティ浜松 大ホール※	10/15	1938年に「スウィングの王様」グレン・ミラーにより結成、世界中で愛される数々のミリオン・ヒットをお届けする。 共催：うぼん
辻井伸行&ロンドン・ フィルハーモニー管弦楽団	アクトシティ浜松 大ホール	10/17	第13回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールの覇者、辻井伸行とイギリスを代表するオーケストラ、ロンドン・フィルの協演。 共催：静岡朝日テレビ
Six Unlimited コンサートツアー 2021 ～オールスターズの企て～	アクトシティ浜松 大ホール※	12/22	6人の奇才「オールスターズ」による夢のステージ。 出演：東儀秀樹（雅楽）、古澤巖（ヴァイオリン）、塩谷哲（ピアノ）、小沼ようすけ（ギター）、大儀見元（パーカッション）、井上陽介（ベース）
野村万作・野村萬斎 狂言公演	アクトシティ浜松 大ホール※	2/9	芸歴80年を超える人間国宝、野村万作と狂言のみならず映像、舞台とジャンルを超えて活躍する野村萬斎ら一門による狂言の世界。
富士山静岡交響楽団共催事業	アクトシティ浜松 大ホール 中ホール	7/18 9/10 2/20	静岡交響楽団と浜松フィルハーモニー管弦楽団の合体により誕生した新たな交響楽団の浜松市内における定期演奏会。（名義共催事業）
市民講座 「絵画の中の音楽」（仮称）	静岡文化芸術大学	調整中	静岡文化芸術大学と提携した市民講座。年3回程度開催。 共催：静岡文化芸術大学

※印 大ホール中規模（1・2階席）で開催

(2) 芸術文化事業の調査、情報収集及び情報提供

① 事業方針

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い新しい生活様式が浸透する中で、オンラインの活用をさらに促進し、アクトシティ浜松友の会のサービス向上を図ります。

インターネットを介しての入会手続きから Web 上での情報提供、電子チケットの取り扱いやグッズの販売により、来場することなくチケットなどが入手できる体制を促進するとともに、電話やインフォメーション・チケットセンターでのチケット販売や公演情報の提供も丁寧に行うことで利便性の向上を図ります。

広報活動においては、従来の文化情報誌「HCF News」を引き続き刊行し、財団の活動紹介や文化と暮らす生活スタイルの提案ができる情報誌として発信します。

さらには、ホームページや SNS の活用、インターネットサービスを利用した広報活動を推進することにより、広域的で幅広い年齢層への効果的な広報活動も展開します。

令和 2 年度は、新型コロナウイルスのため多くの公演が中止となり友の会会員の皆様の期待に添うことができませんでした。引き続き会員としてご登録いただくために、本年度の財団主催の公演チケット購入に使用できるポイントを付与します。

② 重点的に取り組む事項

ア アクトシティ浜松友の会「ビバーチェクラブ」の運営

- (ア) 財団主催事業や受託公演の情報提供として、毎月会員へのダイレクトメールを送付
- (イ) 財団主催事業や受託公演のチケット販売（チケット代金の 10%割引）
 - ・電話予約もしくはオンラインショップによる予約
- (ウ) 会員へのサービス提供
 - ・文化情報誌「HCF News」及びイベントカレンダーの送付
 - ・チケット購入に使用できるポイントの付与（会費 2,000 円の半額をポイントで還元）
 - ・浜松市楽器博物館入館料の割引
 - ・オークラアクトシティホテル浜松及びアクトプラザ店舗の利用サービス

イ 広報活動

- (ア) 財団ホームページの運営（<https://www.hcf.or.jp/>）
- (イ) 情報誌「HCF News」発行
 - ・発行部数 11,000 部、年 4 回、令和 3 年 3 月時点で第 40 号まで発行
 - ・電子書籍による公開
 - ・財団事業及び施設紹介、市内で活動する文化団体紹介、市内の飲食店紹介等を掲載
- (ウ) 令和 2 年度事業活動報告書の発行・配布、活動紹介映像の制作及び Web 上での公開
- (エ) デジタルサイネージの活用
 - （アクトシティ内財団事務室、市民ロビー他での映像による広報）
- (オ) 事業チラシ・ポスター等の製作、配布及び各種広告・広報媒体への掲出
- (カ) アクトシティ浜松イベントカレンダーの発行及び市内主要文化施設、協働センター、ショップ等への配布
 - ・発行部数 10,400 部、隔月発行
- (キ) YouTube や SNS（Facebook、twitter）を活用した広報活動

ウ HCF オンラインショップの運営

- (ア) チケット販売（委託販売を含む）
 - ・窓口引き取り（友の会会員のみ）か宅配のいずれかを選択可能。
- (イ) グッズ販売（財団作成 CD・DVD・書籍・記念商品など）
 - 【取扱商品】
 - ・浜松国際ピアノコンクール関連製品（CD、グッズ）
 - ・浜松市楽器博物館関連製品（CD・DVD・記念商品）
 - ・浜松文芸館出版書籍

エ アクトシティ浜松 インフォメーション・チケットセンターの運営

- (ア) アクトシティ施設案内、公演情報の提供
- (イ) 財団のチケット販売専用端末の設置及びチケットの販売（主催公演及び受託公演）
- (ウ) アクトシティ友の会会員へのチケット販売及び引き換え
- (エ) チケットぴあスポットの運営

(3) 芸術文化活動の支援及び交流の促進

① 事業方針

浜松市民文化フェスティバルなどの市民と財団の協働による芸術文化公演の開催にあたっては、財団がこれまで培ってきた多様なジャンルの市民文化団体等とのネットワークや公演開催のノウハウを活かし、団体と協力、連携しながら、市民による芸術文化の祭典として開催します。

また、市民による主体的な芸術文化活動への支援として、コンサートを開催したい施設への演奏家の派遣により、芸術鑑賞機会と地域の演奏家の演奏機会を創出します。

さらに、指導者向け講座の開催や活動への助成金の付与、相談やアドバイスなどを通じて、市民文化活動の活性化を図ります。

特に、浜松アーツ&クリエイションでは、市民の創造性あふれる活動を発掘するとともに、資金補助を含む伴走支援により、活動のさらなる推進を支援します。さらに、地域の課題解決に向けたセミナーの開催や浜松地域の芸術文化に関する調査研究も行います。

② 重点的に取り組む事項

- ・市民の日頃の活動の成果発表と団体間の交流を目的として、「浜松市民文化フェスティバル」や「浜松市芸術祭演劇・人形劇部門」を開催します。
- ・施設への演奏家の派遣を通して、芸術を鑑賞する機会と地域の演奏家の演奏機会を創出します。
- ・指導者の育成クリニックの開催や、相談、アドバイスなどを通じて、市民活動を持続可能なものとしていくための支援を行います。
- ・財団が実施している市民文化活動のための助成制度と、浜松アーツ&クリエイションとして実施している助成制度が連携して、市内の文化活動を資金面で支援することに加え、情報発信、チケット販売促進の支援などにより、総合的な活動支援を行います。

ア 文化振興事業

事業名	会場	開催予定日	内容
第52回日本吹奏楽指導者クリニック	アクトシティ浜松	5/14～16	学校及び一般音楽指導者を対象とした講座・コンサート・バンドフリーマーケットの総合講習会。
浜松市民文化フェスティバル2021	アクトシティ浜松 他市内諸施設	8～11月	地元市民団体や学校による音楽・舞踊公演。連盟や協会所属団体、市民公募による出演枠を設ける。(全11部門)
第30回 ハママツ・ジャズ・ウィーク	アクトシティ浜松 他	10/16～24	ジャズの恒例イベント。浜松市がジャズ一色になるほど多数のイベントを開催。 主催：浜松市、ヤマハ株式会社、静岡新聞社・静岡放送、ヤマハ音楽振興会
第67回浜松市芸術祭演劇・人形劇部門	アクトシティ浜松 クリエート浜松 浜北文化センター他	10～12月	市内の劇団による演劇・人形劇の公演。 (全6公演)
第64回 中部日本吹奏楽コンクール本大会	アクトシティ浜松 大ホール	10/2,3	静岡・愛知・岐阜・三重・長野・滋賀・福井・石川・富山の中学・高等学校吹奏楽部代表によるコンクール 共催：中日新聞社、浜松市
しずおか連詩の会 in 浜松	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	12/12	5人の詩人が、40編の連詩を創作。出来たばかりの連詩を詩人自らが朗読し解説。 共催：静岡県、静岡県文化財団

事業名	会場	開催予定日	内容
東京藝術大学音楽学部 早期教育プロジェクト 2021	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	1/15, 16	東京藝術大学と地域とが協働して取り組む逸材発掘プロジェクト。子どもの音楽的な可能性を引き伸ばす方策を探るとともに、子どもが相互に刺激し学び合う環境づくりを行う。
吹奏楽交流事業（仮称）	アクトシティ浜松	調整中	吹奏楽をテーマに市民・団体・作曲家・指導者の交流を促し、次世代を担う市民の活動・交流を支援し活発化する。
子ども音楽フェスティバル	浜北文化センター	調整中	アクトシティ音楽院「子ども音楽セミナー」受講生の成果発表の機会創出。邦楽・洋楽・吹奏楽の合同コンサートを開催。
0歳から入れる 親子クラシックコンサート in 浜松	浜北文化センター	1/30	静岡交響楽団による幼児と保護者向けの演奏会。 共催：静岡県、静岡県文化財団
演奏家運営事業	市内各所	通年	コンサートを主催したい施設の運営サポートを行うとともに、地域の演奏家に活動の場を提供。
サポーターマネジメント	—	通年	財団事業を支援するボランティアスタッフの募集・育成マネジメント。

イ 浜松版アーツカウンシル事業

事業名	会場	開催予定日	内容
浜松アーツ&クリエイション 事務局運営 (浜松版アーツカウンシル)	—	通年	浜松版アーツカウンシルとして、中間支援組織を運営。浜松市創造都市推進事業補助金の公募・申請・審査・各ミーティングを行いながら伴走型支援を実施。加えて、補助金交付団体以外の市内芸術文化団体にも相談・助言を通じた伴走型支援や課題解決に向けたセミナーなどを開催。昨年度に引き続き、浜松地域の芸術文化に関する調査研究も行う。

ウ 浜松文化団体活動支援事業

地域の芸術文化活動の充実・活性化を目的とした市民のための文化活動支援制度。助成金の交付と広報活動、販売促進の支援等を行います。（助成上限額10万円）

エ 浜松市内文化団体・文化協会

(ア) 浜松市浜松文化協会

旧浜松市で活動する主要文化団体によって構成され、各団体の活動状況の把握や意見調整等を行います。

(イ) 浜松市内文化協会連絡会

合併後、浜松市となった地域の文化協会（11団体）によって構成され、広域となった市の文化状況を把握するとともに支援を行います。

また、実施する文化活動に対し、「浜松市内文化協会助成金」を交付します。（助成上限額 15 万円）

オ インターンシップ実習

県内・近隣県・音楽系大学の学生を中心としたインターンシップの受け入れ。

(4) 浜松市の行う芸術文化事業の受託と協力

① 事業方針

芸術文化を都市の活力につなげる取り組みを、浜松市とともに推進します。

令和3年度は「第11回浜松国際ピアノコンクール」の開催を通して「音楽の都・浜松」の世界でのプレゼンスの向上を図ります。また、前年度から延期となった「サウンドデザインフェスティバル in 浜松 2021」の開催により「創造都市・浜松」の取り組みを世界に向けて発信します。

プロムナードコンサートなど街中でのコンサートを開催することにより、市民や浜松市への来訪者に音楽の都づくりをPRするとともに、音楽文化都市である札幌市や宝塚市との交流を進めます。

アクトシティ音楽院事業などの人材育成事業を通して、子どもたちの豊かな感性と創造力を育むとともに、浜松市市民音楽ホールの人材育成事業と連携して、未来の芸術文化の担い手を育成します。

② 重点的に取り組む事項

- ・世界で活躍する若手ピアニストの発掘と育成による「音楽の都・浜松」の世界への発信と、市民が世界的レベルの演奏に触れる機会を創出するために、浜松国際ピアノコンクールを開催します。
- ・創造的な活動による地域課題の解決を目指す「創造都市・浜松」を世界及び全国へ発信するため、「はままつ響きの創造プロジェクト」を開催します。
- ・浜松駅前の風物詩であるプロムナードコンサートやまちなかにぎわいコンサートなどの開催により、市民や浜松市への来訪者が「音楽の都・浜松」を体感する機会を創出します。
- ・ジュニアオーケストラ浜松・ジュニアクワイア浜松の運営やアクトシティ音楽院事業、こども音楽鑑賞教室、浜松吹奏楽大会などの青少年育成事業を通して、子どもたちの豊かな感性や創造力を育むことで、将来の芸術家をはじめ、芸術を支え応援する人材を育てます。

ア パイプオルガン関連事業

事業名	会場	開催予定日	内容
オルガンミニコンサート	アクトシティ浜松 中ホール	通年 (全4回程度)	アクトシティのパイプオルガンをより多くの市民に知っていただくための無料の短時間コンサート。
オルガンのパイプを作ってみよう	アクトシティ浜松 中ホール	8/13	夏休みの小・中学生向けワークショップ。オルガンの音の鳴る仕組みを学びながら、紙でパイプを作成。
オルガン演奏会事業	福祉交流 センター	5/26 6/23	福祉交流センターのパイプオルガンを通じて、市民にオルガンに対する理解や関心を深める。

イ まちなかコンサート開催事業

事業名	会場	開催予定日	内容
プロムナードコンサート	JR 浜松駅北口広場 「キタラ」他	4～11月	浜松市内の学校及び一般の吹奏楽演奏団体が出演する屋外コンサート。市民に発表・鑑賞・交流の機会を提供。 協力：浜松市吹奏楽連盟
街かどコンサート	浜松市ギャラリー モール「ソラモ」	11/14	浜松市内で活動する合唱団が出演する屋外コンサート。 協力：浜松市合唱連盟
まちなかにぎわいコンサート	JR 浜松駅北口広場 「キタラ」他	4～11月	市内音楽愛好家団体が公演をプロデュース。合唱・ジャズ等の多彩なジャンルの団体が出演する屋外コンサート。

ウ ジュニアオーケストラ浜松・ジュニアクワイア浜松運営事業

事業名	会場	開催予定日	内容
定期練習	市内諸施設	通年	団員の募集・育成・公演をマネジメント。音楽を通じて、豊かな感性を備え、文化的視野を持った青少年の育成を目的とする。
第27回定期演奏会	アクトシティ浜松	9月	
スプリングコンサート2022		3月	

エ 浜松吹奏楽大会事業

事業名	会場	開催予定日	内容
浜松吹奏楽大会2022			
第10回全国中学生交流コンサート	アクトシティ浜松 中ホール	3/26	吹奏楽の普及とレベルの向上を目的とした全国規模の事業。キタラでのプロムナードコンサートをはじめ、市内中学校を会場とした地域交流プログラム、全国から参加した高校生の交流会等の関連イベントも同時開催。
第34回 全日本高等学校選抜吹奏楽大会	アクトシティ浜松 大ホール 他	3/27	

オ 都市間交流事業

事業名	会場	開催予定日	内容
音楽文化都市交流事業	札幌コンサート ホール Kitara 他	11/12~14	浜松市が音楽文化都市交流協定を結んでいる札幌市や宝塚市との演奏交流事業。

カ こども音楽鑑賞教室事業

事業名	会場	開催予定日	内容
第21回こども音楽鑑賞教室	アクトシティ浜松 大ホール	2/1, 2 全4公演	市内全小学5年生を対象に本物のオーケストラ演奏に触れる機会を提供。

キ アクトシティ音楽院事業

事業名	会場	開催予定日	内容
■アカデミーコース （世界レベルで活躍する演奏家の育成と世界に向けた音楽文化発信事業）			
第27回浜松国際管楽器 アカデミー&フェスティバル	アクトシティ浜松	8/3～8	海外演奏家を講師として迎え、管楽器の奏者を育成するための短期セミナーと、講師陣によるコンサートを開催。
パークリー音楽大学事業	アクトシティ浜松	2月予定	米パークリー音楽大学の教授や関係者によるジャズクリニック。
修了生公演事業	市内小中学校 他	随時	アクトシティ音楽院修了生に、市内外の音楽活動の場を提供する公演企画。
■コミュニティコース （市民が参加・体験できる講座の開催と人材育成事業）			
ジャズクリニック	市内諸施設	日時未定 (全3回)	守屋純子氏他による市内学校・音楽団体を対象とした指導。
吹奏楽セミナー	アクトシティ浜松	4/4	保科洋音楽監督を講師に、吹奏楽課題曲講習会を開催。
	市内小学校 他	4～11月 (全4回)	浜松ジュニアプラスを対象としたパート別講座と基礎合奏を学ぶ合奏講座他を開催。
ジャズ譜貸出事業	—	通年	金管バンド用、吹奏楽用等に編曲したジャズ譜を、市内アマチュア音楽団体を対象に無料貸し出し。
「交響組曲『ピーターパン』 (吹奏楽版)」音源・楽譜貸出事業	—	通年	教育文化奨励賞受賞、浜松ゆかりの芸術家佐藤賢太郎氏が制作した楽曲の音源・楽譜をアマチュア音楽団体へ無料貸し出し。
主催者育成セミナー	アクトシティ浜松 研修交流センター	5～3月 (全12回)	演奏家と聴衆を繋ぐ役割としての音楽イベント主催者を育成。事業開催実践セミナー。2月に受講生の企画によるコンサートを開催。
合唱セミナー	アクトシティ浜松 他	6・7・1月 (全3回)	NHK 全国学校音楽コンクールの課題曲講習会や合唱指導法、発声法などを学ぶ講座を開催。
音楽指導者派遣事業	市内学校・団体	通年	音楽指導者登録者を地元の音楽活動へ派遣し、音楽活動の活性化と人材活用を図る。
子ども音楽セミナー	市内諸施設	11～12月	小中学生を対象にした吹奏楽、洋楽、邦楽の体験型セミナー等を開催。

ク 浜松国際ピアノコンクール事業

内容	会場	開催予定日	説明
(関連企画) 三浦謙司×中桐望× 新日本フィルハーモニー交響楽団	アクトシティ浜松 中ホール	5/10	過去のコンクールより2名の入賞者を招き、新日本フィルとの協演によるコンチェルトをお届けする。
予備審査	ヤマハ銀座店	5/17～23	審査員長含む専門委員4名によるDVDオーディション。コンクール出場者を選考する。
運営委員会／実行委員会開催	アクトシティ浜松	6月上旬	議題：コンクール出場者承認、記者発表内容承認、チケット価格 他
予備審査合否通知発送	—	6月上旬	
ボランティア募集開始	—	6月上旬	コンクール運営のボランティアを募集。広報はままつ他で告知。
(関連企画) 「小さなピアニストコンサート」	市内施設他	7～8月	小中学生を公募し、市内施設でピアノ演奏会を開催。
第11回浜松国際ピアノコンクール 会場：アクトシティ浜松			
オープニングコンサート	中ホール	11/7	前回優勝者ジャン・チャクムルによるリサイタル。
第1次予選 (5日間)	中ホール	11/13～17	
第2次予選 (3日間)	中ホール	11/19～21	委嘱作品の演奏を含む。
第3次予選 (2日間)	中ホール	11/23, 24	室内楽演奏を含む。
本選 (2日間)	大ホール	11/27, 28	
表彰式	大ホール	11/28	
入賞者披露演奏会	大ホール	11/29	入賞者6人によるガラ・コンサート。
運営委員会／実行委員会開催	アクトシティ浜松	2月	議題：コンクール報告、令和4年度事業計画・収支予算
事業報告書完成	—	3月	第11回コンクール事業報告書の制作。
優勝者ツアー開催地／主催者との調整	—	通年	国内外のホール事業者／音楽祭主催者に向けて、コンクール優勝者の演奏企画を売り込み、優勝者ツアー開催地/日程を調整。

ケ 2020 文化プログラム推進事業

事業名	会場	開催予定日	内容
はままつ響きの創造プロジェクト 「サウンドデザインフェスティバル in 浜松 2021」	展示 イベントホール 他	12/11, 12	令和2年度に開催中止となった「サウンドデザインフェスティバル in 浜松 2020」をウィズコロナ、アフターコロナの時代を見据え、リモートにおいても楽しめるコンテンツを拡充し、実施する。

2 芸術文化活動促進と地域社会活性化の拠点となる施設の整備、貸与及び運営

(1) アクトシティ浜松

① 運営の考え方

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、ホールでのコンサートやイベント、全国から参加者が集まる学会などの中止又は延期、縮小が多発しました。

そのような中、コンサートや発表会ではインターネットを活用した同時配信、学会においてはオンライン化やハイブリッド形式（現地開催とオンライン開催の併用）の導入など、これまでとは異なる開催モデルが検討され、当館にも利用者からのネット環境に関する要望が多く寄せられました。

このようなことから、インターネット回線の混雑などによる通信速度の低下を回避するため、回線数の増設など、いち早くインターネット環境の改善に取り組み、より安定したネット環境を提供することを可能としました。

令和3年度は、引き続き新型コロナウイルスの影響が懸念される場所ですが、この機会をチャンスに変えるべく、オンライン活用によるコンベンションの提案や、利用者の要望に寄り添うサポートサービスの充実などを通して、アフターコロナ時に選ばれる施設を目指して、取り組みます。

さらには、アクトシティ浜松が多くの市民に愛され、集う施設となるよう、ホテルや商業施設と連携して、アクトシティ活性化事業を推進します。

② 重点的に取り組む事項

- ・コロナ禍を経て、施設に求められる設備やサービスも多様に変化しつつあります。通年で実施しているアンケートを最大限活用し、ご利用者のご要望を確実に掴み、必要な時に必要な支援を提供できる運営体制とします。
- ・サポートサービスでは、運用開始よりメニューの拡充に努めてきましたが、新たにコロナ対策、オンライン化に係るメニューの開発を進めます。
- ・大規模コンベンションは、インターネットを活用した新たな開催形態へと移行しています。より複雑となった開催形態に対応できるよう、大型コンベンション専任の担当者を配置することで、スムーズな大会運営に寄与し、次のコンベンション開催へとつなげます。
- ・ホール等の施設利用に係る下見や打ち合わせは、原則、利用者に来館いただいていたが、ホームページのコンテンツを充実することにより、リモートでの打ち合わせや各種資料の提供を可能とし、主催者の負担軽減を図ります。

事業名	開催予定日	内容
アクトシティ活性化事業（2事業）		
アクトシティ大冒険！	8/12	アクトシティ浜松の大ホールやホテルの裏側および制振装置など普段見られないところを大冒険する、バックステージツアー。
アクトシティ周辺マップの作成	通年	アクトシティ内の施設及び飲食店を掲載する案内マップを作成する。ユニバーサル視点やピクトグラムを採り入れたものとし、デザインは浜松ゆかりのアーティストを活用。

(2) クリエイト浜松

① 運営の考え方

クリエート浜松は、ホールのほかにギャラリーや創造活動室、スタジオなどを有し、多様な市民文化活動に利用される施設であり、様々なジャンルの文化団体等が活動しています。

令和2年度は新型コロナウイルスの拡大により、多くの団体等が不安の中での活動を余儀なくされました。

そうした中、市内の市民文化団体とのネットワークにより一昨年から開催している連絡会議において、コロナ禍で文化活動に励む団体とともに、活動を進める工夫についてともに考える機会をつくっています。

令和3年度も、引き続き利用者のニーズを捉え、適切な施設運用に努めるとともに、アフターコロナにおいても多様なジャンルの文化活動の拠点施設としての運営に取り組みます。

② 重点的に取り組む事項

- ・浜松市民文化フェスティバル「絵・写・書・茶・花」展では、文化活動に携わる市民の活躍できる舞台を整えます。
- ・地域活性化を図る取り組みとして、地元大学や企業・学会と連携した「リフレッシュ理科教室」、工芸に携わる市民協力のもと開催する「夏休み親子工作教室」など、地域に根付いた事業を展開します。
- ・今後の文化活動を担う若年層の利用者を増やすため、SNSを活用し、新規利用団体を増やすための働きかけをします。創造活動室やスタジオなど、若い世代に人気があり利用しやすい施設をはじめとしたPRを行います。
- ・多様な用途で利用できる施設としての認識を市民の皆様に深めていただくため、利用者の意見を参考に、使いやすい環境を整えます。ギャラリーやホールなどの成果発表の場としてだけでなく、日ごろの文化活動・練習会場としての施設利用を促進します。
- ・当館は貸館施設のほか、HICE・人権啓発センター・放送大学を含む複合施設です。様々な目的で来館される方のために、誰もがわかりやすい看板・館内表示を増設し、スムーズな案内を提供します。

事業名	開催予定日	内容
自主事業 (5事業)		
浜松市民文化フェスティバル 「絵・写・書・茶・花」展	8/20～22	3階のギャラリーにおいて地元の文化団体が絵画、写真、書道、お茶、生け花など多彩な文化を披露する。
クリハマ楽校	通年	参加者自らが興味関心のある講座を企画開催する事業。参加者同士のコミュニケーションの場を創出する。
ふれあい広場活性化事業 Creative Gala (クリエイティブ・ガラ)	通年	地域の文化活動活性化のため、ふれあい広場を無料提供する事業。
夏休み親子工作教室	夏休み期間	アトリエを使用して、親子を対象にした工作教室。
親子お料理教室	冬又は春 休み期間	親子で楽しむパン作りと SNS 映え撮影講座をコラボさせたクッキング事業。

事業名		開催予定日	内容
自主事業（共催事業 5事業）			
Collabo with! クリエイト (コラボ・ウィズ)	随時	文化団体等から企画提案された浜松の文化振興に寄与する事業を共催者として支援。	
第24回リフレッシュ理科教室	7/10	静岡大学教授のレクチャーによる理科実験工作。 共催：(公財) 応用物理学会	
クリエートの夏まつり	8/22	地域住民や関係機関と連携し、地域及び施設の活性化を目的に実施、文化イベントや物販などを行う。 共催：市中部協働センター、市人権啓発センター、(公財) 浜松国際交流協会	
クリエートの冬まつり	1/22, 23	地域住民や関係機関と連携し、地域及び施設の活性化を目的に実施、文化イベントや物販などを行う。 共催：市中部協働センター	
第12回 はままつグローバルフェア	2/13	フェアトレードショップや国際交流ブースを設けたイベント。着物などの日本文化にも触れられる場とする。 共催：はままつ国際理解教育ネット、(公財) 浜松国際交流協会	
その他の事業・機能（3事業）			
文化情報サロン事業	通年	財団事業の紹介及び文化団体情報の収集と提供。当施設利用の同好会文化団体への取材と情報発信を実施。	
託児スペースの提供	通年	主催者の要望により児童室を無料提供。	
インターンシップ実習	夏期～ 秋期	県内・近隣県・音楽系大学の学生を主としたインターンシップの受け入れ。	

(3) 浜松市浜北文化センター

① 運営の考え方

浜北文化センターは昭和 56 年に開館して以来、多くの市民に利用され、令和 3 年度に 40 周年を迎えます。

この節目を利用者とともに祝うことを企図し、「浜北寄席」「ふれあい感謝祭」など、これまで親しまれ継続してきた事業を中心に、祝祭感のある演出により 40 周年を盛り上げます。

さらに、地域で行われている文化活動を広く紹介するパンフレットの発行、コロナ禍により発表の場を失った地域の文化活動団体への発表の場の提供、子どもから大人までの文化体験講座の開催などにより、市民が当施設を拠点として世代や地域を越えて関係し合う機会の創出を図ります。

この 40 周年の節目は、アフターコロナという新しい時代の起点でもあります。これまでに築いた管理運営の経験を土台として、感染予防対策やインターネット環境の充実などによりさらなる利用促進を目指します。変化してゆく利用形態に対応しながら、新しい時代においても文化施設の役割を果たし、市民の文化活動を支え続けます。

② 重点的に取り組む事項

- ・開館 40 周年記念事業として、人気講談師の神田伯山を招いての寄席や人気舞台公演を開催するとともに、ふれあい感謝祭や地域文化団体の作品展などの事業を実施します。
- ・リモート会議やライブ配信等の需要に応えるために市が実施するインターネット環境の整備を広く周知し、その利用促進を図ります。
- ・利用者が予約を検討する場面でもインターネットの活用が広がっています。ホームページによる情報提供を充実させることにより利便性を高めます。
- ・共同事業体として管理運営を行っているなゆた・浜北と連携し、相互の貸館空き状況の利用者への案内を行うなどしてセールスの相乗効果を図ります。

事業名		開催予定日	内容
自主事業 (11 事業)			
開館 40 周年記念事業			
地域文化活動情報提供事業	-		当館及び地域を拠点とする文化団体やその活動をパンフレットで紹介する。地域の文化活動に関わりを持ちたい人と活動中の文化団体とをつなぐことを目的とする。
地域文化団体作品展事業	通年		館内の共有部分を展示会場に活用し、地域の文化団体が活動の展示発表を行い、団体間の交流の場とする。
第 37 回浜北寄席「神田伯山 独演会」	5/9		地域寄席としてお馴染みの催し。数多くのメディアで活躍する人気講談師、神田伯山の独演会を開催する。
「ゆるやかコンサート」特別編	2 月予定		開館 40 周年を記念し、楽器博物館との協働によるゆるやかコンサート。楽器に焦点を当てた内容で開催する。乳幼児から大人まで幅広い世代が楽しめる公演。
舞台「ムサシ」浜松公演	10/22～24		平成 21 年の初演以来各地で再演を重ね、今なお安定した人気を誇る藤原竜也の主演舞台公演を浜松で開催する。 共催：静岡朝日テレビ
ふれあい感謝祭	1/22, 23		浜北文化センターだけでなく、なゆた・浜北の開館 20 周年をも記念し、両館が協働して開催。地域一体で文化団体の活動の発表を盛り上げる。

事業名	開催予定日	内容
妊婦さんとお母さんのための「ゆるやかコンサート」シリーズ 春、夏、秋、冬	5/26, 7/8, 9/18, 12月予定	乳幼児のいるご家族や妊娠中の方などを対象とするコンサート。浜松市の内外で活躍する演奏家が出演し、お子様と一緒に音楽を楽しむ機会を提供する。
お母さんと子どもたちのためのゆるやかワークショップ	9月予定	母子がリズムに乗りながら楽しめるエクササイズ。赤ちゃんとのコミュニケーションや遊びを通じて、参加者同士の交流も図る。
大人・はじめの一步！講座	10月予定	地域の文化団体が講師となり、生涯学習のきっかけづくりとして様々な文化体験が気軽にできる講座を開催する。
子ども・Let's チャレンジ講座	12月予定	次世代を担う子どもたちが分野を超えて様々な文化体験を行う講座を開催する。
第13回浜松市民バンドフェスティバル	2/6	市内で活動する市民吹奏楽団が一堂に会する吹奏楽の祝祭。成果披露の場および多彩な演奏を聴くことができる機会を提供する。 共催：浜松市民バンド協議会

(4) 浜松市なゆた・浜北

① 運営の考え方

浜松市なゆた・浜北は、ホール、控室、練習室及び駐車場部分の管理運営について、当財団と株式会社なゆた浜北が共同事業体を組み、浜松市浜北文化センター及び浜松市・市民ミュージアム浜北を含む3施設を一括して指定管理を受けています。

令和3年度は、当施設も平成13年の開館から20周年にあたることから、浜北文化センターの開館40周年とあわせ、記念すべき両施設の節目をともに祝う事業を実施します。

② 重点的に取り組む事項

- ・開館20周年を記念する事業として、浜北文化センターと協働で「ふれあい感謝祭」を開催します。
- ・浜北文化センターと連携し、ホール空き日の情報提供や広報活動を行い、両館の施設稼働率向上や各事業の参加者増加への相乗効果を図ります。
- ・より幅広い年代のニーズに応えるため、ものまねライブやジャズフェスティバル、映画祭などミドル世代、シニア世代に向けた事業を実施します。

事業名	開催予定日	内容
自主事業 (8事業)		
開館20周年記念 ふれあい感謝祭	1/22, 23	浜北文化センターとの協働により、両施設のご利用者に感謝の気持ちを込めて、発表の場を提供するイベント。
親子で作るクラフト講座	5/8 11/27	母の日やクリスマスの時期に使える小物を親子で作製する小学生を対象としたクラフト講座。
なゆた・映画祭	10/9	シニアのための名画を楽しむイベント。映画館にしばらく行っていない方も気軽に楽しめる映画祭。
なゆた・ものまねライブ	11/3	昭和のアイドルものまねを中心に、青春時代に夢中になった懐かしのアイドルの歌を再び。昔を思い出す同窓会の雰囲気ライブイベント。
なゆた・ジャズフェスティバル	2/27	ジャズの生演奏で週末を楽しむコンサート。ジャズが盛んな浜松のニーズを満たすイベント。
はまきた駅前 なゆた朝市	月2回 程度	浜北駅前で開催する、なゆた恒例の人気企画を継続。地元産の新鮮な野菜の販売、地域出店者による販売。にぎわいを創出する駅前活性化事業。
なゆた・浜北朝市 フリーマーケット	月1回 程度	安くて新鮮な朝採れ野菜の販売や掘出し物が楽しみなフリーマーケットを開催。地域出店者により販売。
まちかどライブ	月1回 程度	地元演奏家や音楽愛好家にライブステージ演奏の場を提供。発表の場の創出と駅前のにぎわいをつくる事業。

(5) 浜松市天竜壬生ホール

① 運営の考え方

北遠地域の文化振興を推進する施設である天竜壬生ホールは、地域で文化活動を営む団体とともに「MIBU ニューイヤーコンサート 2022」や「みぶ遠州の和太鼓」、「みぶ絵手紙展」といった事業を開催し、地域文化の活性化に取り組みます。

また、小・中学生を対象に通年でミュージカルとダンスのワークショップを行い、次の時代の文化の担い手を育成し、この地域における文化振興の種を蒔きます。

令和3年度は、新たに施設の屋外部分を有効活用した茶席や自然を学ぶ講座を実施します。ホールやリハーサル室以外にもこの施設が持つ魅力を発信し、施設利用の拡大に繋げていきます。

② 重点的に取り組む事項

- ・地域文化の担い手となっている文化団体と協働し、鑑賞型の公演として「MIBU ニューイヤーコンサート 2022」や「みぶ遠州の和太鼓」といった、クラシックや和太鼓のコンサートを実施します。
- ・毎月2回、小・中学生を対象にミュージカルとダンスのワークショップ「MIBU ワークショップ」を開催し、地域の子どもたちに舞台芸術の体験指導を行うとともに、成果発表公演を開催します。
- ・地域の生産品である茶や天竜川水系二俣川の自然に注目し、それら資源を活かした事業として「壬生の花見茶席」「増やそう！育てよう！天竜川の魚」を実施します。屋外の桜の木が立つ庭や野外ステージを会場として使用し、ホール以外の魅力をアピールします。

③ その他事項

- ・ホール舞台吊物改修工事のため、ホールの貸し出しを8月末から1週間程度休館します。
- ・ホールホワイエ空調改修工事のため、ホワイエの貸し出しを2週間程度休館します（工事期間調整中）。工事期間中は、ホールの利用に際して一部の客席扉を塞いでの貸し出しとなります。

事業名	開催予定日	内容
指定事業（文化振興事業 2事業）		
MIBU ニューイヤーコンサート 2022	1/16	天竜楽友吹奏楽団と著名演奏家が協演する市民参加型コンサート。
みぶ遠州の和太鼓	3/13	静岡県西部の和太鼓団体によるライブコンサート。
指定事業（芸術普及事業 9事業）		
MIBU ワークショップ ダンスクラス	通年 (月2回)	専門講師による、小学生から高校生までを対象としたダンス及びミュージカルの通年指導。事業を通じて、芸術・文化活動による地域児童の育成促進と地域文化の振興を図る。
MIBU ワークショップ ミュージカルクラス	通年 (月2回)	
MIBU ワークショップ 成果発表公演	12/25, 26	ワークショップ受講生たちによる、オリジナルミュージカル作品と創作ダンスの披露公演。
みぶアーティストコンサート	8/29	児童から大人まで出演者を公募し、ホールでステージパフォーマンスを披露。
みぶ吹奏楽フェスティバル	10/31	天竜浜名湖鉄道沿線地域の高校吹奏楽部による合同演奏会。

事業名		開催予定日	内容
	増やそう！育てよう！天竜川の魚	11月 2月	アマゴの托卵と稚魚の放流を通して、地域の自然環境や歴史について学ぶ講座。
	みぶ絵手紙展	1/19～30	天竜区内や近隣で活動する地域団体との協働企画による絵手紙展示会。
	壬生の花見茶席	3/27	季節を感じる呈茶サービスの実施。
	天竜区内文化団体等との協力事業	通年	天竜区内で活動する文化団体が実施する芸能祭の舞台運営を支援。
自主事業（5事業）			
	お母さんと赤ちゃんのための「ゆるやかエクササイズ」	年2回	赤ちゃんと保護者を対象とした簡単なリズム体操講座。
	ステージ演奏体験	年7回	コンサートピアノを会館側で準備、ステージを一般開放し演奏体験の機会を提供。非公開のため、持ち時間を練習・撮影など自由に活用できる。ホール空き日を活用。
	演奏家派遣事業	通年	学校や医療施設など、地元天竜区に所在する施設からのニーズにより地元演奏家を紹介。
	インターンシップ実習	夏期～ 秋期	県内・近隣県・音楽系大学の学生を主としたインターンシップの受け入れ。
	チケット受託販売	通年	壬生ホール利用者の開催公演のチケット受託販売。
自主事業（共催事業 2事業）			
	天竜区ふれあいコンサート	年2回 (調整中)	一流演奏家によるクラシックミニコンサート。天竜区内の学校や公共施設で無料開催し、ホールまで足を運びにくい地域に生演奏を届ける。 共催：天竜区ふれあいコンサート実行委員会
	はままつ偉人講談	9/23	講談師の巧みな語り口を通して、郷土の偉人の偉業やエピソードを学ぶ企画。 共催：ポンポン CLUB 浜松

(6) 浜松市市民音楽ホール（サーラ音楽ホール）

① 運営の考え方

令和3年6月に開館する市民音楽ホール（通称サーラ音楽ホール）は、その機能として市民の音楽文化活動の促進及び次代の音楽文化活動の担い手の育成が期待されています。

この使命の達成には、市民が主体となり、様々な取り組みに気軽に挑戦できる環境の整備が重要です。

市民音楽ホールは、実施する様々な事業を通じて、市民の芸術文化活動の機会を創出するとともに、そうした活動に多くの市民が関わることで、市民文化の創造拠点として運営を進めます。

また、将来的には事業から育った人材が次の世代を育成していく、人材育成循環システムの構築を目指します。

② 重点的に取り組む事項

- ・オープニング企画として、多様な音楽文化活動の新しい拠点となる施設の存在を周知するため、邦楽、吹奏楽、合唱など様々なジャンルのステージを市民と協働で企画運営します。
- ・オープニング期間には、コンクールを誘致するとともに、市民へ用途自由な演奏機会を提供し、実際に利用いただくことで一層の周知を図るとともに、利用に基づいた生の声を吸い上げ、より良い運営につなげます。
- ・市民の文化活動の拠点施設として、子どもから大人まで幅広い年齢層の市民が活躍できる場を創出するとともに、学校や企業など多様な主体が関わる事業として、浜松ジュニアプラス育成事業やアイデア・チャレンジ事業に注力して取り組みます。
- ・浜松ジュニアプラス育成事業は、市内小学生有志からなる合同吹奏楽団を、NPO 法人浜松市生涯学習音楽協議会の認定指導員が年間を通じて指導します。生涯学習における文化活動として、次世代の育成に市民が関わり、学びと教への循環システムを構築します。
- ・アイデア・チャレンジ事業は、当館を会場とした事業を公募し、企画段階から当日の実施までを包括的に支援する伴走型の事業です。既成の概念にとらわれず、応募者の自由な発想を尊重して実施することで、気軽に何にでも挑戦する環境を整えます。
- ・生涯学習の観点から、乳幼児、高齢者、障がいのある人など誰もが参画しやすいコンサートやワークショップを、地域に根差す企業、大学、各種団体と協働で開催します。

事業名	開催予定日	内容
受託事業（開館記念事業 5 事業）		
開館記念式典	6/1	市内邦楽団体、吹奏楽団体、声楽家の共同による祝賀演奏を披露する。ロビーでは市内芸術団体の作品展示を同時開催する。
中部日本吹奏楽コンクール	6/5, 6 6/12, 13	中部地方における中学校・高等学校の吹奏楽コンクールへの会場提供を行う。
「市民音楽の日～合唱」	6/20	公募で市民による世代ごとの開館記念合唱団を結成。ゲストに作曲家の松下耕氏を招聘し、開館を祝うコンサートを開催する。
「市民音楽の日～吹奏楽」	6/27	浜松市内小・中・高、各世代で活動している合同吹奏楽団が一堂に会し開館を祝うコンサートを開催する。
「市民音楽の日～自由演奏」	6 月	市民音楽ホールのキャパシティ、スペックを広く周知するため、市内文化団体を対象に用途自由の演奏機会を無償で提供する。

事業名	開催予定日	内容
指定事業 (市民の音楽文化活動の促進 6事業)		
伴走支援型事業 「アイディア・チャレンジ」	通年	当館を会場とした事業を一般公募し、選定事業について、構想段階から実施までを会館が伴走支援する。
サポーターズクラブ	通年	当館を拠点に活動する文化団体及び個人を人材データベースに登録してバンク化し、市域のアウトリーチ等に活用する。
運営協議会	通年	市民音楽ホール事業及び施設運営について評価、指導の機能をもつ諮問機関を外部に設置する。
情報発信掲示板 コミュニケーションスクエア	通年	市内の文化団体や個人が活動を自由に発信できるよう、館内掲示スペースの活用及びウェブページの整備を行う。
エントランスロビー活用事業	通年	エントランスロビーに市内芸術団体の作品を展示する。
ユニバーサル事業 「ハートフルコンサート」	通年	客席がフラットな多目的室を会場として、障がいのある人や、子育て世代を主な対象としたコンサートを開催する。 共催：認定 NPO 法人魅惑的倶楽部
指定事業 (次世代の音楽文化の担い手となる人材の育成 4事業)		
ゆるやかコンサート ゆるやかワークショップ	年 1,2 回	子育て世代を対象に、入退出可能な乳幼児向けのコンサートやワークショップを開催する。
浜松ジュニアプラス育成事業 (小学生世代)	通年	浜松市内の小学生による合同吹奏楽バンドの育成を NPO 法人浜松生涯学習音楽協議会と協働で実施する。
ジャズ育成事業 (中学生・高校生世代)	2月～3月	市内中高生を対象としたジャズクリニック。終了後には成果披露発表会を開催。講師陣とのホールでの演奏機会を提供する。
大学連携事業 (大学生世代)	通年	地元の大学生が企画運営する子ども対象のワークショップ、同時に指導者の育成も図る。 共催：常葉大学浜松キャンパス
自主事業 (1事業)		
企業連携事業 (夏祭り)	8月	地域住民や企業と連携し、地域及び施設の活性化を目的に実施、文化活動の発表や地元産品の物販などを行う。

3 観覧施設を活用した資源の調査、収集、保存、展示による芸術文化の普及発展

(1) 浜松市楽器博物館

① 運営の考え方

令和3年度においては、新型コロナウイルスの影響が続くことを踏まえ、全国への広報に加え、市内や静岡県内への広報も引き続き強化します。

企画展は、日本文化を紹介するべく伝統楽器「琵琶」に関する展示、浜松国際ピアノコンクールの開催期間中には「鍵盤楽器」の展示、世界的な電子楽器メーカーが集積している浜松だからこそ可能な「電子楽器」に関する展示を開催します。

また、子どもから大人まで楽しんでいただけるよう、令和2年度に新規オープンしたワークショップエリアの活用や、市内演奏家に活躍の機会を提供しつつ来館者に音楽を親しんでいただく演奏会も多数開催します。

さらに、オンラインで館内を見学できるバーチャル博物館を展開します。バーチャル博物館は、教育の場で活用いただいたり、障がいのある人やコロナ禍で来館できない方も、スマホやパソコンから楽器博物館を楽しんだりすることが可能です。

今後も、収集資料と研究成果の公開という、国内唯一の公立楽器博物館としての使命を果たします。

② 重点的に取り組む事項

- ・日本の伝統楽器「琵琶」に関する展覧会を開催します。近年「琵琶」はアニメ「鬼滅の刃」に登場したり、正倉院の復元楽器展示で人気を博したりと大変注目を集めており、その誕生の歴史や種類・音楽を紹介します。
- ・浜松国際ピアノコンクール開催期間中に「鍵盤楽器」に関する展覧会を開催します。ピアノが誕生してから約300年、その誕生ストーリーと発展の歴史について紹介します。
- ・音楽史上の画期的な発明である電子楽器「テルミン」や電子楽器の歴史がわかる展覧会を開催します。世界的な電子楽器メーカーが集積している浜松から、「テルミン」が音楽の世界に与えた影響や、電子楽器の変遷、未来の電子楽器像について考えます。
- ・琵琶の製作と演奏に携わっている石田克佳氏によるレクチャーコンサートや、青色LEDを利用した「テルミン」の工作教室など、企画展に関連する演奏会やワークショップを開催します。
- ・静岡大学や浜松市文化財課など関係機関と連携し、重要無形民俗文化財の指定を受けている「西浦の田楽」等、三遠南信地方に伝わる民俗音楽の調査研究を実施します。

事業名	開催予定日	内容
特別展・企画展・常設展 (6事業)		
企画展「浜松まつり～勇壮なラップと華麗なるお囃子～」	4/1～5/11 (2/11～)	浜松まつりを盛り上げるラップとお囃子。まつりの歴史を紐解きながら、演奏される楽器の種類や音色について紹介。
企画展「琵琶が語るものがたり(仮称)」	7/31～12/8	琵琶の歴史と種類、制作工程などを紹介。琵琶誕生の背景にある世界の東西交流史も併せて解説。
企画展「ピアノの誕生(仮称)」	11/12～1/11	ピアノはどこで生まれ、どのような経緯で世界的な楽器になったのか。その歴史やストーリーを紹介。浜松国際ピアノコンクールに合わせて開催。
企画展「電子楽器誕生101年 それはテルミンから始まった(仮称)」	12/11～3/31 (～4/12)	テルミンは1920年に発明された世界初の電子楽器。テルミンを中心に、その後開発された様々な電子楽器を紹介する。

事業名		開催予定日	内容
ミニテーマ展示		通年	博物館スタッフによるミニテーマ展示。
常設展の運営		通年	楽器展示室、体験室の管理運営。
ガイドツアー・ギャラリートーク・ミュージアムサロン・シリーズ音楽の広場 (4事業)			
展示室ガイドツアー		通年	職員によるテーマ別の展示解説ツアー。
ギャラリートーク		通年	職員による実演と展示解説。
ミュージアムサロン		通年	ゲストや職員による展示室でのミニレクチャーとミニコンサート。
シリーズ音楽の広場		通年	地域の音楽家や職員等による展示室でのミニコンサート。
演奏会 (レクチャーコンサート) (5事業)			
伝統再発見 一語りの平家・地無し尺八・白繭の箏		5/29	演奏：志村禪保 (地無し尺八)、菊央雄司 (平家琵琶)、田中奈央一 (平家琵琶) ほか
琵琶製作者及び奏者 石田克佳氏 (名称未定)		8/7	演奏：石田克佳 (薩摩琵琶)
一ピリオド楽器で奏でる一 ベートーヴェン ピアノ四重奏曲第18番		9/22	演奏：川口成彦 (フォルテピアノ)、コンソネ 弦楽四重奏団 (イギリス)
フォルテピアノリサイタル		10/31	演奏：羽賀美歩 (フォルテピアノ)
テルミン		未定	演奏：竹内正実
講座・ワークショップ (4事業)			
ワークショップ「ピアノ解剖」		11月	講師：ヤマハ株式会社、河合楽器製作所
ワークショップ 「青色LEDを使ったテルミンを作ろう」		未定	講師：山脇一休
大人ワークショップ「一節切づくり」		未定	講師：相良保之
楽器づくりワークショップ 「とり笛を作ろう！」		通年	講師：楽器博物館ボランティア、職員
市内小学校移動博物館 (5事業)			
伊佐見小学校		6/7～11	5市内小学校への移動博物館。お話と体験を織り交ぜて、クラスごとに世界の楽器文化を紹介。保護者や地域住民への開放も含む。
船越小学校		7/14～16	
舞阪小学校		9/27～10/1	
竜禅寺小学校		11/29～12/3	
中郡小学校		2/7～11	

事業名	開催予定日	内容
楽器整理・調査・情報発信 (8事業)		
常設展整備	通年	展示室、体験ルームの展示替え。
CD・図録等の制作	通年	所蔵楽器音源のCD化・所蔵楽器の図録制作
所蔵資料の調査・整理・修復	通年	所蔵資料の調査、整理、修理、修復。
広報誌「楽器博物館だより」発行	通年	年3回程度。市内小中学校・公共施設等に配布。
公式ホームページサイトの管理運営	通年	一般情報とアーカイブス、最新情報ほかを発信。
国際会議への参加と発表	日程未定	国際博物館会議 ICOM・CIMCIM 年次大会(場所未定)。
他施設での出張展示	通年	新東名サービスエリア展示協力(ネオパーサ浜松SA下り)。市民ミュージアム浜北展示協力。
バーチャル博物館の展開	通年	オンラインで館内を見学できるバーチャル博物館を展開。教育の場での活用が見込まれる。障がいのある人やコロナ禍で来館できない方も、スマホやパソコンから楽器博物館を楽しむことが可能。
他博物館・教育研究機関等との連携 (3事業)		
サウンドデザインフェスティバル in 浜松 2021	12/11, 12	音と人との新たな関係を創造するサウンドデザインの祭典。ユネスコ音楽都市はままつ推進事業実行委員会、浜松科学館との共催。
「ゆるやかコンサート」特別編	2月予定	浜北文化センター開館40周年記念事業。乳幼児から大人まで幅広い世代が楽しめる公演。楽器に焦点を当てた内容で開催。当館職員が出演。
音楽文化・芸能調査	通年	市内又は日本の伝承民俗芸能の調査。浜松市文化財課、静岡大学情報学部と連携して実施。
研修受け入れ (5事業)		
学芸員実習	8月	学芸員資格認定の必須科目である実習。全国の大学生の応募者から選考。
インターンシップ実習	通年	市内や静岡県内外の大学生を中心に受け入れ。
教職員研修	通年	浜松市の教職員の研修受け入れ。
中学生高校生職場体験学習	通年	浜松市の中学生高校生の職場体験受け入れ。
中学校との共同授業	下半期	世界の楽器を通しての国際理解教育。

(2) 浜松文芸館

① 運営の考え方

浜松文芸館は「先人の感性にふれ、今日の浜松を見つめ、未来の浜松を語る」を目的に、市民の文芸活動の拠点として「市民の皆様へ愛されるクリエイティブな浜松文芸館」を目指しています。

令和2年度は、短歌入門講座や俳句の講演会で初めて小学生の参加がありました。また、「ことばちゃん」というマスコットキャラクターを設定し、昨年までの「俳人（はいと）君」とともに、若者にも親しまれる浜松文芸館を目指しています。

令和3年度も、静岡大学地域創造学環の学生たちと連携し、若い人たちの視線で「文芸」をとらえてもらい、親子で来館した子どもが親になったときにまた親子で来館できるような、子どもから大人まで誰にでも愛される施設を創ります。

② 重点的に取り組む事項

- ・特別収蔵展として、俳誌「海坂」会員の皆様の協力を得て「相生垣瓜人の世界」を開催します。
- ・企画展では、親子一緒になって来館できるよう大正から昭和にかけて活躍した浜松の童画家本田庄太郎にスポットをあて「ようこそ子どもの国へ 浜松の童画家 本田庄太郎展」を開催します。また、秋には浜松出身の歌人で画家である原田京平を取り上げ、我孫子市白樺文学館と提携し「歌人・画家 原田京平 故郷浜松へ帰る」を開催します。
- ・アウトリーチ企画として、パネルや一部展示品を市内図書館や協働センター、小中学校、高校等へ貸出す「移動浜松文芸館」を実施します。
- ・講座事業では、アンケートで希望の多かった「源氏物語」「おくのほそ道」「朗読入門講座」の発展的な講座として「朗読書」講座を新たに設けます。
- ・子どもたちが浜松文芸館に親しむ場として、「夏休み読書感想文」「夏休み絵本づくり」講座のほかに、小学校低学年を対象にした「楽しいお話づくり」講座を実施します。
- ・「浜松市民文芸67集」の発行では広報活動に力を入れ、応募者数の増加を図るとともに、特に若い年齢層の投稿を促し、老若男女に親しまれる文芸誌とします。
- ・静岡大学と連携し、「地域創造学環事業」として、大学生のアイデアを文芸館事業に取り入れた取り組みを行います。

事業名	開催予定日	内容
展示事業 (3事業)		
特別収蔵展 浜松ゆかりの蛇笏賞俳人「相生垣瓜人の世界」	4/1～6/20 (3/1～)	ご遺族から新規に寄贈された資料を中心に、俳人・文人画家としての相生垣の魅力を変えて紹介する。
企画展「ようこそ子どもの国へ 浜松の童画家 本田庄太郎展」	7/1～10/17	浜松ゆかりの文芸人として、童画家・本田庄太郎を紹介。夏休みに親子で楽しめる展示とする。
企画展「歌人・画家 原田京平 故郷浜松へ帰る」	11/1～2/13	浜松市出身の歌人で画家の原田京平を紹介する。我孫子市白樺文学館と提携した展示を開催する。
講座事業 (11事業)		
文学講座(春)・(秋)	各6回	春は『源氏物語』の桐壺から末摘花までを読解。秋は『万葉集』の伴家持、山部赤人らの歌を中心に読む。講師：松平和久
古文書読解講座	年5回	古文書を読み解きながら、江戸時代の生活を知る。講師：小木香
川柳入門講座	年5回	川柳の知識や作り方、鑑賞の仕方を学ぶ。(初心者向け) 講師：今田久帆

事業名		開催予定日	内容
	短歌入門講座	年5回	短歌の知識や作り方、鑑賞の仕方を学ぶ。(初心者向け) 講師:村松建彦
	俳句入門講座Ⅰ・Ⅱ	各5回	俳句の知識や作り方、鑑賞の仕方を学ぶ。(初心者向け)Ⅰ(5~6月) 講師:二松祥子 Ⅱ(9~10月) 講師:笹瀬節子
	古典文学講座	年6回	『平家物語』の読解を通して当時の人々の死生観に迫る。 講師:大石嘉美
	『おくのほそ道』講座	年6回	芭蕉と、旅で出会った人物との関りに着目し、「出会いと別れの物語」として読む。 講師:勝田敏勝
	朗読入門講座・朗読書講座	各6回	「朗読入門」では声による表現の楽しさを味わう。「朗読書講座」は、一冊の本の世界を朗読で表現する。 講師:堤腰和余
	篆刻入門講座	年5回	文字について学習し、書画作品等に押す自分の姓名印を作成する。 講師:下石哲幸
	文学と歴史講座	年5回	明治から昭和にかけての近代詩を当時の世相と重ねて味わう。 講師:折金紀男
	古典和歌講座	年6回	『古今和歌集』の中から「恋歌三」「恋歌四」「雑歌上」を読解する。 講師:松平和久
イベント事業 (1事業)			
	朗読会「森鷗外を読む」	10/17	朗読を通して、森鷗外作品を味わう。 講師:堤腰和余
講演会事業 (3事業)			
	講演会「ちょっと詳しくフランス革命」	5/15	歴史学者、経済学者の視点からフランス革命を詳しく掘り下げる。 講師:金原増吉
	講演会「歴史・時代小説に描かれた浜松」	8/8	様々な小説の中で「浜松」がどう描かれているかを探っていく。 講師:和久田雅之
	講演会「季語の本意とどう向き合うか」	11/13	芭蕉の作品を通し、「季語」そのものに迫る。 講師:高柳克弘
子ども向け事業 (3事業)			
	夏休み絵本づくり講座	7/24	小学4年生から6年生対象。自分で作ったお話でジャバラ絵本を作成する。 講師:井口恭子
	楽しいお話づくり講座	7/31	小学1年生から3年生対象。自分の力で楽しいお話を作ることに挑戦する。 講師:井口恭子
	夏休み読書感想文講座Ⅰ・Ⅱ	7/24, 31	小学4年生から6年生対象。読書感想文を実際に書きながら、自分の感動を相手に伝える書き方を学ぶ。 講師:佐山朝美

事業名		開催予定日	内容
浜松市民文芸事業 (1事業)			
	第67集の作品募集・選考・編集・発行	9～3月	67年の歴史をもつ市民の文芸作品発表の場として、小説、評論、詩、短歌など全9部門で文芸作品を市民公募・審査選考。優秀作品を「浜松市民文芸」として編集・発行する。
資料の調査研究・保存・整理 (1事業)			
	資料収集・研究・整理事業	通年	資料収集対象者を中心とした資料の収集・研究・整理分類及び寄贈品の整理等。
教育機関との連携 (3事業)			
	入館者や学習見学者への案内・説明	通年	入館者への展示室案内や、市内小学校等の施設見学の受け入れ。
	職場体験学習・フィールドワーク受け入れ	通年	フィールドワーク(学外実習)希望者や、市内中高校生の体験学習の受け入れと出前講座の実施。
	特別フィールドワーク 静岡大学地域創造学環との連携事業	通年	静岡大学が実施する地域創造学環フィールドワークとの連携事業。学生とともに文芸館の運営課題を研究し、広報展開や事業を開催。
クリエイトとのコラボ事業 (2事業)			
	フォト俳句展	秋頃予定	クリエイト3階ギャラリーにて、民間団体による写真展の写真に高校生が作った俳句を添えた展示会を開催する。
	文芸館インフォメーションコーナーの開設	通年	クリエイト1階に浜松文芸館を紹介するコーナーを設置し、文芸館の存在と事業を広く周知する。
その他事業 (6事業)			
	文芸館広報誌 「いざない 浜松文学紀行」発行	年4回	浜松文芸館の展示や各講座、取組の様子、情報を順次紹介する。
	浜松市文化振興財団自主出版 「風紋のアンソロジーⅠ、Ⅱ、Ⅲ」販売	通年	浜松ゆかりの作家らのエッセイや選句集などを収録した文庫本の販売。(500円/冊)
	「裾野の「虹」が結んだ交誼 曾宮一念、藤枝静男宛書簡」販売	通年	曾宮一念と藤枝静男の生い立ちから出会いまでと二人の書簡を時系列で紹介した本の販売。(2,000円/冊)
	出版物・地域伝統品の委託販売	通年	講座講師著書・地元発行「遠州文学散歩」の出版物や、やらまいかブランド「遠州綿紬」使用品、地元額縁店「ミニフォトフレーム」等の委託販売。
	移動浜松文芸館	通年	文芸館での展示終了後、市内図書館や学校へ展示資料を貸出し、展示・観覧してもらうアウトリーチ事業。(5月から6月都田図書館にて展示予定)
	「BUNBUN はままつ」発行	年1回	「浜松百撰」との協賛事業。本館が募集した作品を「浜松百撰」誌に掲載。

(3) 浜松市・市民ミュージアム浜北

① 運営の考え方

市民ミュージアム浜北は、浜北文化センターの館内に設置された浜松市博物館の分館であり、浜北地域の歴史資料やくらしの文化を展示しています。

全国的にも出土例の少ない「見返りの鹿」埴輪や旧石器時代の人骨化石「浜北人骨」など、貴重な資料が展示されていることを活かして、体験コーナーや講座など充実した独自の教育普及事業、広報活動等を展開しています。

令和3年度は、浜北文化センター開館40周年に寄せて、開館以来のあゆみ、浜北地域における文化活動の発展など、40周年の節目を視点とした展覧会を開催し、同施設の40周年を一体的に盛り上げます。

広報面では、ミニコンサートなどイベントの開催や、浜北文化センターと連携した情報提供により、施設や事業の一層の周知を図ります。

② 重点的に実施する事項

- ・「浜北文化センター40年のあゆみ展(仮)」の開催に際し、市民から展示資料を募るなど、市民との関わりのなかで事業を実施します。
- ・展示室内でのミニコンサートの開催や、浜北文化センターとの連携によるイベントガイドへの記事掲載などにより広報を充実し、集客を図ります。

事業名		開催予定日	内容
自主事業 (10事業)			
開館40周年記念事業 浜北文化センター40年のあゆみ展(仮)		7/4~8/29 (予定)	40年間のあゆみを資料で振り返り、思い出の写真等を市民から募る。この展示を通して、地域に息づく文化、人々の思いを紹介する。
浜北文化協会連携特別展示企画		4~6月 9,10月	浜北文化協会と連携し、所属団体の活動の成果を示す作品等を特別展示する。
夏休み体験企画		8月中 (20~30回)	児童や親子向けの体験ワークショップ。展示資料と関連するおもちゃや道具の制作体験や、クイズラリーで展示を楽しく学習する機会を提供する。
①機織り機体験			
②浜北の風車作り体験・編み方教室			
③藍のたたき染め体験			
④昔の遊び体験			
⑤弓矢体験			
⑥クイズラリー			
ミュージアム講座		年2回程度	ミュージアムの所蔵品もしくは遠州地域の歴史や文化にまつわる講座を開催する。
ひだまりコンサート		3月下旬	展示室内で行うミニコンサート。ミュージアムへの新規来館を促し、当施設を知っていただく機会とする。
他施設資料の特別展示		年1回	他施設の優れた資料を市民ミュージアム浜北で紹介。当年度は市楽器博物館の出張展示を開催する。

事業名		開催予定日	内容
	スタンプラリー	通年	1階「くらしの資料館」と2階「歴史資料館」の主要展示品の場所にスタンプスポットを置き、館内を隈なく巡回することで学習を深めてもらう。
	機織り体験コーナーの運営	通年	機織り機を常時可動な状態で展示し、体験希望者にはスタッフが織り方を指導する。
	教育プログラムの受け入れ	通年	中高生職場体験学習、校外学習等の教育機関の課外プログラムを受け入れる。
	浜北文化協会との連携	通年	機織りや藍染め等の伝統工芸の技術指導や助言を仰ぐとともに、協会の事務局運営を支援する。

令和3年度 収支予算

【予算の概要】

1. 基本方針

本年度の当初予算は経常費用 2,416,910 千円とし、前年度比 59,854 千円増となります。

これは、サーラ音楽ホールの指定管理開始及び浜松国際ピアノコンクール本番年による事業規模の拡大要因を含みながらも、新型コロナウイルスの影響による施設利用料金収益の減額を鑑み、既存事業の精査と各施設の管理経費の節減等を図ったものです。

2. 収支の状況

(1) 当期経常増減額

本年度の当期経常増減額は、△48,230 千円を予定しています。特定費用準備資金や広域文化基金を充当することで、実質は当期経常増減額 0 円となる事業計画で進めます。

(2) 指定管理施設の状況

本年度は前年度に引き続く 8 施設と 6 月に開館を迎えるサーラ音楽ホールを加え、指定管理施設は全部で 9 施設となります。これにより受取指定管理料は前年度比 82,532 千円増の 1,217,816 千円となります。

なお、施設利用料金収益はコロナ禍以前の稼働率への回復が厳しいことが想定されるため、前年度比 136,439 千円減の 600,510 千円としました。

3. 資金及び基金の活用

(1) 特定費用準備資金の取崩等

本年度は、第 11 回浜松国際ピアノコンクールの開催年となります。費用の平準化を図るために過去年度に積み立てを行った特定費用準備資金について、計画どおり 30,000 千円の取崩を実施し、コンクール開催費用の財団負担分に充当します。また、4 年間で取り崩しを計画しています浜松文化団体活動支援事業用の資金についても、当初計画に基づき 3 年目となる本年度は 2,500 千円を事業費用に充当します。

なお、大型公演事業のための 10,000 千円の積み立てについては、海外招聘及び国内のオペラ・ミュージカル等の大型公演の開催が困難であること、また、所管施設全体での収支が厳しいことから目的外の取り崩しを考えています。

(2) 基金の活用

事業基金 2,155 千円を取り崩し、第 67 回浜松市芸術祭演劇・人形劇部門の事業費用に充当します。また、広域文化基金 5,730 千円を取り崩し、浜松市天竜壬生ホール及び浜松市浜北文化センターにおける自主事業の実施、浜松市内の文化団体・文化協会の調整・支援事業等に充当します。

この結果、令和 3 年度末の基金残高は、事業基金 180,989 千円、広域文化基金 2,389 千円を予定しています。

収支予算書(損益ベース)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	5,240	5,500	△ 260
基本財産運用益計	5,240	5,500	△ 260
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	1,041	1,137	△ 96
特定資産運用益計	1,041	1,137	△ 96
③ 事業収益			
入場料収益	88,772	98,568	△ 9,796
チケット手数料収益	2,993	4,661	△ 1,668
イベント関連収益	15,149	15,256	△ 107
協賛金・共催事業収益	14,298	20,128	△ 5,830
受取会費	9,800	10,500	△ 700
広告料収益	1,580	1,580	0
使用料収益	1,026	695	331
手数料収益	8,641	17,616	△ 8,975
図書販売収益	110	100	10
売上収益	5,725	2,876	2,849
施設利用料金収益	600,510	736,949	△ 136,439
観覧料収益	30,955	42,070	△ 11,115
事業収益計	779,559	950,999	△ 171,440
④ 受取指定管理料等			
受取指定管理料	1,217,816	1,135,284	82,532
受取市補償金	4,500	6,416	△ 1,916
受取消費税交付金	3,550	4,840	△ 1,290
受取指定管理料等計	1,225,866	1,146,540	79,326
⑤ 受取受託金			
受取事業市受託金	120,740	105,975	14,765
受取受託金計	120,740	105,975	14,765
⑥ 受取負担金			
受取事業市負担金	232,059	120,045	112,014
受取負担金計	232,059	120,045	112,014
⑦ 受取寄付金			
受取寄付金	100	100	0
受取仲道子供音楽事業資産振替額	1,075	598	477
受取事業基金振替額	2,155	10,091	△ 7,936
受取寄付金計	3,330	10,789	△ 7,459
⑧ 雑収益			
受取利息	6	20	△ 14
雑収益	839	975	△ 136
雑収益計	845	995	△ 150
経常収益計	2,368,680	2,341,980	26,700

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	935	3,615	△ 2,680
給料手当	354,533	342,785	11,748
臨時雇賃金	35,925	34,142	1,783
退職給付費用	19,096	17,561	1,535
福利厚生費	60,241	58,861	1,380
交際費	399	128	271
会議費	236	157	79
懇談会費	6,111	3,418	2,693
旅費交通費	41,357	16,571	24,786
通信運搬費	13,080	11,847	1,233
減価償却費	12,792	12,049	743
消耗什器備品費	2,359	4,296	△ 1,937
消耗品費	38,040	33,954	4,086
修繕費	17,608	17,894	△ 286
印刷製本費	40,035	38,344	1,691
燃料費	253	346	△ 93
光熱水料費	46,584	56,062	△ 9,478
使用料賃借料	39,571	37,578	1,993
保険料	4,262	4,009	253
諸謝金	66,494	45,786	20,708
租税公課	53,061	51,899	1,162
支払負担金	693,563	757,079	△ 63,516
支払助成金	12,580	5,980	6,600
委託費	745,222	694,941	50,281
手数料	21,280	13,871	7,409
広告料	19,196	18,197	999
支払利息	192	236	△ 44
事業費計	2,345,005	2,281,606	63,399
② 管理費			
役員報酬	623	2,410	△ 1,787
給料手当	44,829	47,740	△ 2,911
退職給付費用	3,709	3,358	351
福利厚生費	9,318	8,426	892
交際費	80	80	0
旅費交通費	300	330	△ 30
通信運搬費	220	230	△ 10
減価償却費	903	903	0
消耗品費	160	170	△ 10
印刷製本費	60	60	0
使用料賃借料	500	730	△ 230
保険料	660	400	260
諸謝金	70	70	0
租税公課	343	789	△ 446
支払負担金	470	470	0
委託費	9,426	9,047	379

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
手数料	190	180	10
支払利息	44	57	△ 13
管理費計	71,905	75,450	△ 3,545
経常費用計	2,416,910	2,357,056	59,854
当期経常増減額	△ 48,230	△ 15,076	△ 33,154
当期一般正味財産増減額	△ 48,230	△ 15,076	△ 33,154
一般正味財産期首残額	2,989,054	2,969,587	19,467
一般正味財産期末残額	2,940,824	2,954,511	△ 13,687
II 指定正味財産増減の部			
① 特定資産運用益			
特定資産受取利息	3	47	△ 44
② 一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 3,233	△ 10,736	7,503
当期指定正味財産増減額	△ 3,230	△ 10,689	7,459
指定正味財産期首残高	201,571	203,144	△ 1,573
指定正味財産期末残高	198,341	192,455	5,886
III 正味財産期末残高	3,139,165	3,146,966	△ 7,801

(注) 収支予算書は、「公益法人会計基準の運用指針」(平成20年4月11日 内閣府公益認定等委員会)に示された様式に準じて作成している。

収支予算書(損益ベース)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:千円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益					
基本財産受取利息	2,620	0	2,620	0	5,240
基本財産運用益計	2,620	0	2,620	0	5,240
② 特定資産運用益					
特定資産受取利息	8	0	1,033	0	1,041
特定資産運用益計	8	0	1,033	0	1,041
③ 事業収益					
入場料収益	88,772	0	0	0	88,772
チケット手数料収益	2,993	0	0	0	2,993
イベント関連収益	15,149	0	0	0	15,149
協賛金・共催事業収益	14,298	0	0	0	14,298
受取会費	9,800	0	0	0	9,800
広告料収益	1,576	4	0	0	1,580
使用料収益	1,024	2	0	0	1,026
手数料収益	8,561	80	0	0	8,641
図書販売収益	110	0	0	0	110
売上収益	5,725	0	0	0	5,725
施設利用料金収益	584,549	16,961	0	1,000	600,510
観覧料収益	30,955	0	0	0	30,955
事業収益計	763,512	17,047	0	1,000	779,559
④ 受取指定管理料等					
受取指定管理料	1,129,180	21,599	67,037	0	1,217,816
受取市補償金	4,360	140	0	0	4,500
受消費税交付金	3,441	109	0	0	3,550
受取指定管理料等計	1,136,981	21,848	67,037	0	1,225,866
⑤ 受取受託金					
受取事業市受託金	120,740	0	0	0	120,740
受取受託金計	120,740	0	0	0	120,740
⑥ 受取負担金					
受取事業市負担金	232,059	0	0	0	232,059
受取負担金計	232,059	0	0	0	232,059
⑦ 受取寄付金					
受取寄付金	100	0	0	0	100
受取仲道子供音楽事業資産振替額	1,075	0	0	0	1,075
受取事業基金振替額	2,155	0	0	0	2,155
受取寄付金計	3,330	0	0	0	3,330

(単位:千円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
⑧ 雑収益					
受取利息	0	0	6	0	6
雑収益	825	14	0	0	839
雑収益計	825	14	6	0	845
經常収益計	2,260,075	38,909	70,696	1,000	2,368,680
(2) 經常費用					
① 事業費					
役員報酬	925	10	0	0	935
給料手当	351,702	2,831	0	0	354,533
臨時雇賃金	35,773	152	0	0	35,925
退職給付費用	18,988	108	0	0	19,096
福利厚生費	59,766	475	0	0	60,241
交際費	399	0	0	0	399
会議費	236	0	0	0	236
懇談会費	6,111	0	0	0	6,111
旅費交通費	41,350	7	0	0	41,357
通信運搬費	12,990	90	0	0	13,080
減価償却費	12,482	310	0	0	12,792
消耗什器備品費	2,322	37	0	0	2,359
消耗品費	37,699	341	0	0	38,040
修繕費	17,267	341	0	0	17,608
印刷製本費	39,996	39	0	0	40,035
燃料費	249	4	0	0	253
光熱水料費	46,580	4	0	0	46,584
使用料賃借料	39,278	293	0	0	39,571
保険料	4,193	69	0	0	4,262
諸謝金	66,463	31	0	0	66,494
租税公課	52,231	830	0	0	53,061
支払負担金	672,927	20,636	0	0	693,563
支払助成金	12,580	0	0	0	12,580
委託費	733,763	11,459	0	0	745,222
手数料	21,199	81	0	0	21,280
広告料	19,196	0	0	0	19,196
支払利息	189	3	0	0	192
事業費計	2,306,854	38,151	0	0	2,345,005
② 管理費					
役員報酬	0	0	623	0	623
給料手当	0	0	44,829	0	44,829
退職給付費用	0	0	3,709	0	3,709
福利厚生費	0	0	9,318	0	9,318
交際費	0	0	80	0	80
旅費交通費	0	0	300	0	300

(単位:千円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
通信運搬費	0	0	220	0	220
減価償却費	0	0	903	0	903
消耗品費	0	0	160	0	160
印刷製本費	0	0	60	0	60
使用料賃借料	0	0	1,500	1,000	500
保険料	0	0	660	0	660
諸謝金	0	0	70	0	70
租税公課	0	0	343	0	343
支払負担金	0	0	470	0	470
委託費	0	0	9,426	0	9,426
手数料	0	0	190	0	190
支払利息	0	0	44	0	44
管理費計	0	0	72,905	1,000	71,905
経常費用計	2,306,854	38,151	72,905	1,000	2,416,910
当期経常増減額	△ 46,779	758	△ 2,209	0	△ 48,230
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 46,779	758	△ 2,209	0	△ 48,230
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 46,779	758	△ 2,209	0	△ 48,230
一般正味財産期首残額	1,421,337	69,673	1,498,044	0	2,989,054
一般正味財産期末残額	1,374,558	70,431	1,495,835	0	2,940,824
II 指定正味財産増減の部					
① 特定資産運用益					
特定資産受取利息	3	0	0	0	3
② 一般正味財産への振替額					
一般正味財産への振替額	△ 3,233	0	0	0	△ 3,233
当期指定正味財産増減額	△ 3,230	0	0	0	△ 3,230
指定正味財産期首残高	201,571	0	0	0	201,571
指定正味財産期末残高	198,341	0	0	0	198,341
III 正味財産期末残高	1,572,899	70,431	1,495,835	0	3,139,165

資金調達及び設備投資の見込みについて

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除去または売却を含む。）の予定はありません。